

体育実技A(剣道) 1単位(春学期)

体育実技A(剣道) 1単位(秋学期)

(日本剣道形・経験は問わない)

春学期・秋学期: 金2

植田 史生

授業の目的:

日本剣道形は、大正元年(1912年)10月に制定、大正6年(1917年)9月に加注を行い、昭和8年(1933年)5月に加注を増補し、現在は全てこれを定本として実施している。打太刀(うちだち)、仕太刀(しだち)の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、

1. 正しい打突の筋を知る。
2. 正しい打撃の間合いを知る。
3. 正しい身体のさばきを知る。
4. 気位が養われる。

これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

授業の計画:

- 1 シラバスの確認と日本剣道形の説明
- 2 日本剣道形 太刀1本目~3本目を木刀にて説明
- 3 日本剣道形 太刀1本目~3本目を木刀にて復習
- 4 日本剣道形 太刀1本目~5本目 木刀にて1本目~3本目の復習と4~5本目の説明
- 5 日本剣道形 太刀1本目~5本目を木刀にて復習
- 6 日本剣道形 太刀1本目~7本目 木刀にて1本目~5本目の復習と6~7本目の説明
- 7 日本剣道形 太刀1本目~7本目を木刀・形用模擬刀にて復習
- 8 日本剣道形 太刀1本目~7本目を木刀・形用模擬刀にて復習
- 9 日本剣道形 小太刀1本目~3本目を木刀にて説明
- 10 日本剣道形 小太刀1本目~3本目を木刀にて説明
- 11 日本剣道形 小太刀1本目~3本目を木刀・形用模擬刀にて復習
- 12 日本剣道形 太刀7本と小太刀3本を木刀・形用模擬刀にて復習
- 13 日本剣道形 太刀7本と小太刀3本を木刀・形用模擬刀にてビデオ撮影
- 14 各自の映像を確認し、形用模擬刀にて総復習
- 15 文献購読

成績評価方法:

出席(60%)・技術(10%)・態度(15%)・理解(15%)の4項目を点数化し、その合計点で評価する。

実施場所:

体育館剣道場

服装携帯品等:

剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、木刀、形用模擬刀は貸与する。